

令和6年度 研究授業  
音 楽 科 学 習 指 導 案

令和6年10月11日(金)・3校時

【授業者】 榊宗知子

【単元・題材】 歌に込められた思いや意図を伝える表現を工夫しよう

【学年・組】 2年1組

【場所】 第1音楽室

三原市立第五中学校

## 2 年 1 組 音楽科学習指導案

【指導者】 榊宗知子 【単元名】 歌に込められた思いや意図を伝える表現を工夫しよう

### 単元観について

(1) 本単元は、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説音楽の〔第2学年及び第3学年〕のA表現に関わる単元であり、以下の記述を受けて設定した。

- (1) 「ア歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫すること」、  
「イ(ア)曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりを理解すること」  
「イ(イ)声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり」

本単元で扱う楽曲「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ」は混声合唱組曲「時の女神」の最終曲であり、卒業や旅立ちに向けたメッセージを歌った曲である。未来という空へ旅立つ人に向けて愛と涙と人生の教訓を伝える内容はとても熱い歌詞であるが、音楽もその歌詞を生かすような作りになっている。曲調は前半の優しいところと後半の力強いところの対比があざやかで歌詞と強弱やリズムなどの音楽の関連が感じ取りやすく、表現でもメリハリがつけやすい曲である。

またこの曲を合唱する中で、男声と女声が交互に主旋律を奏でるところが多く、主旋律以外の旋律である飾りやハモリの旋律という役割を感じ取りながら、上手に重ねていくことで合唱が立体的に響くというおもしろさがある。

またこの単元は絆祭（文化祭）の合唱発表をゴールとしている。今年度は1～3年生までの縦割りの合唱になり、飾りやハーモニーの旋律などの表現がより豊かにでき、1つのものを作り上げるのにそれぞれリーダーシップを発揮する場が設定できると考える。

### 生徒観について

本学習を計画するために、昨年度の合唱の振り返りを行った。結果は次の通りである。

|   | 昨年の絆祭での合唱をふりかえって                         | できた | まあ  | あまり | できない |
|---|------------------------------------------|-----|-----|-----|------|
| 1 | 昨年の合唱の取り組みを通して、自分は満足することができた。            | 62% | 34% | 4%  | 0%   |
| 2 | 昨年、授業でのパート練習や放課後練習にまじめに取り組んだ。            | 69% | 31% | 0%  | 0%   |
| 3 | 昨年の合唱の取り組みを通して、自分をほめたいと思うことがあった。         | 27% | 50% | 19% | 4%   |
| 4 | 自分には様々な可能性や良さがあることがわかった。                 | 38% | 38% | 23% | 0%   |
| 5 | 自分は合唱練習中に仲間を意識して頑張った。                    | 62% | 38% | 4%  | 0%   |
| 6 | 自分はみんなにがんばって歌うよう働きかけた。                   | 19% | 46% | 27% | 8%   |
| 7 | 歌詞にこめられた思いや音楽の特徴や良さを感じとることができた。          | 50% | 38% | 12% | 0%   |
| 8 | 歌詞にこめられた思いや音楽の特徴や良さを文章で書くことができた。         | 35% | 46% | 19% | 0%   |
| 9 | 歌詞にこめられた思いや音楽の特徴を歌で効果的に表現するためのアドバイスができた。 | 35% | 38% | 19% | 8%   |

生徒は合唱で「仲間を意識して頑張った」ことがわかるが、お互いに声をかけて歌うよう呼びかけたりするまでには高まらなかった。また「歌詞にこめられた思いや音楽の良さの感受」は出来ているが、それを歌で効果的に表現するためのアドバイスはできなかった生徒が多い。

これらの課題を全員で共通理解して縦割り合唱に取り組み、共感的な人間関係のもと自己存在感を高めて一人ひとりの表現力の向上を目指したい。

絆祭の合唱は今年で3年目になり、練習から発表までの流れは概ね出来てきた。授業で毎時間ごとの振り返りをして積み重ねることができた。しかし、今年度は縦割り合唱になり1年から3年の異学年集団での合唱になるため、昨年よりも多くの人と関わりあうことになり、それをまとめうリーダーの存在はさらに重要になってくると考えられる。

## 指導観について

○主体的で対話的な学びを促す指導の工夫（昨年度から行っているもの）

- (1) 2ヶ月という長い期間を、粘り強く取り組むための見通しを持たせる。
- (2) パート練習や合わせ練習で、周りの人たちと共に考え、学ぶ活動を仕組む。
- (3) スモールステップで自分の学びを振り返り、修正や改善をする方法を身につける。

①については、合唱のスタートからゴール（絆祭）までの合唱活動の流れと、そこで身につけてほしい力を表にすること、また表の中で今どの段階を学んでいるのか、など全体を見通せる表を作ること、長期の活動でも継続して頑張ろうとする気持ちを持たせたい。

②については、集団として高めあい達成感をもたせるために、リーダーを中心としたパート練習や振り返りを行い共感的なムードを作りたい。その際、パート練習の目的、練習時間や回数、役割分担などをきちんと決めて、生徒に達成感を持たせたい。

③については、系統性を意識して音楽の基礎基本は授業の最初にきちんとおさえ、楽譜に書き込みをして自分の考えの軌跡や変容を積んでいきたい（楽曲分析）。授業の最後には、ねらいに応じた評価を文章で書かせ（R80）自分の学びを客観的にとらえさせたい。

今年度新たに追加した取り組み

○音楽的な見方・考え方を働かせ、学びを深めるための指導の工夫

- (4) 音楽を形作っている要素をキーワードに、聴取したことを言葉や文章で書き表す。
- (5) 他学年にアドバイスする表現力と技能を高める手立てについて具体案を考えて書ける。

## 単元の目標

・「あなたへ」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現でこの曲を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につける。【ア知識・技能】

・「あなたへ」のリズム、速度、旋律、強弱やその変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。【イ思考力・判断力・表現力】

・「あなたへ」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心を持ち、合唱活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動にとりくむとともに、合唱活動に親しむ。【ウ主体的に学習に取り組む態度】

## 指導と評価の計画

(1) 単元の評価規準

| 知識・技能                                                            | 思考・判断・表現                                                                                        | 主体的に学習に取り組む態度                                                                             |
|------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①歌詞の内容や曲想にふさわしい表現で歌う、響きのある発声でハーモニーを重ね合わせて歌うなどの基礎的な技能を身に付けて歌っている。 | ①音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取っている。<br>②歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 | ①歌唱の表現に興味・関心をもち、歌唱の学習に進んで取り組もうとしている。<br>②曲の表情や味わいに関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組んでいる。 |

(2) 単元指導計画（全 7 時間）

| 次 | 学習内容                                             | 時間 | 評価規準                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 評価の観点  |             |   | 評価の方法                        |
|---|--------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------------|---|------------------------------|
|   |                                                  |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 知<br>技 | 思<br>判<br>表 | 主 |                              |
| 1 | 曲を聴いて特徴や良さを知覚しながら、音程やリズムに気を付けてパートを歌う練習をする。       | 2  | ①合唱や自分のパートを聞いて、その変化や特徴を知覚し、歌詞に込められたメッセージを感じ取ることができる。<br>②自分のパートの音を楽譜を見ながら聞いてイメージを持つことができる。<br>①パートに分かれてリーダーの指示に従って、音程やリズムに気を付けながら歌うことができる。                                                                                                                                                  | ○      | ○           | ○ |                              |
| 2 | 歌詞の意味を考え、歌い方や、曲想などの表現を工夫して歌う。<br>【本時 1 / 3】      | 3  | ①歌詞に込められたメッセージや、音楽的な意図について考え、詩と音楽が結びつくことにより、どんな音楽的な効果が生まれているか感受し、文章で表すことができる。<br>①前述の文章を使って、パート練習をしながら相互評価をすることができる。<br>②表現の工夫をするために、音楽を形作っている要素に注目して録音や録画を比較聴取し、聞いたことを言葉や文で書き表すことができる。<br>①表現の工夫をするために、感受したことを歌で表現するための方法について、具体的に考えることができる。                                               | ○      | ○           | ○ | ワークシート<br>観察<br>自己評価<br>相互評価 |
| 3 | ハーモニーの響きやパートのバランスなどを聞いて、指揮、伴奏、歌い手が一体となった表現を工夫する。 | 2  | ①独唱ではない「合唱」や「縦割り合唱」の良さについて意見交流し、一人ひとりが合唱への関わり方を考えることができる。<br>②パートの各役割(主旋律、飾りの旋律、ハーモニーを作る旋律など)を知り楽譜に書き込み、パートが重なった時の声のバランスやハーモニーを意識しながら歌うことができる。<br>①歌の合唱形態（斉唱、かけあい、ハーモニーなど）や、曲想の変化（強弱や速度の変化）を指揮と伴奏と歌の全員が理解しながら歌い、ダイナミクスとメリハリのある合唱をすることができる。<br>②録音や他学年の合唱を鑑賞し、互いに評価し、具体的なアドバイスを考えて伝えることができる。 | ○      | ○           | ○ | ワークシート<br>観察<br>自己評価<br>相互評価 |

## 本時の学習

### （１）本時の目標

サビの部分を生かす歌い方を考え練習することができる。歌の良さや特徴を聞いている人に伝えるために、どんな表現の（歌い方の）工夫をしたらよいか考え、ふさわしい表現で歌うことができる。

### （２）本時の学習展開

| 学習活動                                                                                                                                         | 指導上の留意事項                                                                                                                                                                                                                                                  | 評価規準（評価方法）                                                                                                                                                           |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>1 既習事項の確認をする。（前時の振り返りをする。）【 5分】</b>                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                      |
| ○発声練習「校歌」<br><br>○前時の取り組みを授業評価カードや録画視聴をしながら振り返る。                                                                                             | ○校歌を色々な歌い方や発声で歌いながら身体の使い方と声の違いを体感する。<br><br>○ペアでふり返ったあと、リーダーやパートリーダーによる意見の交流を行う。<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <b>ICTの活用①</b><br/>             例）前時に録画した合唱の様子を視聴する。           </div>                      |                                                                                                                                                                      |
| <b>2 本時のめあてを確認し、課題を発見・共有する。【10分】</b>                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                      |
| ○めあて・課題を知る。<br><b>課題の設定</b>                                                                                                                  | ○前時の振り返りから、本時の課題意識につなげられるように導く。                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                      |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <b>【めあて】</b>サビの部分を生かす歌い方を考え練習することができる。           </div> |                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                      |
| ○サビの部分の歌詞や音楽を分析をしながら曲の特徴を把握する。<br>①歌詞に描かれている気持ちや熱量<br>②音楽の特徴（旋律、調性、強弱）<br>③パートの役割（ユニゾン、かけあい、ハーモニーの違いによる音楽効果）                                 | ○サビの歌詞と楽譜の両方に注目させる。<br>・「愛と涙 そして知るだろう…」<br>・「張り裂けるような悲しみの行き場…」<br>・「時の女神よ 教えてください…」<br>・「手と手をつなぎ その手をかざそう…」<br>・「愛と涙 あなたの手のぬくもり…」<br><br>○①、②、③について歌詞と楽譜の両方を見ながら自分の楽譜にメモを取り、気づいたり考えたりさせる。                                                                 | <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;">             ・表現の工夫をするために、音楽を形作っている要素に注目して録音や録画を比較聴取し、聞いたことを言葉や文で書き表すことができる。           </div> |
| <b>3 本時の課題解決に向けて考える。【15分】</b>                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                      |
| ○分析してわかった特徴を歌で表現するための方法を考える。<br><br>○パート練習 15分                                                                                               | ○自分の意見をパートで出し合い、パートの課題として一つ設定させる。<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;">             例・パートの役割（主旋律ははっきり、飾りの旋律は柔らかに歌う）を意識して練習する<br/>             ・愛、涙などの名詞をはっきりと発音する。<br/>             助詞は少し小さく歌う。           </div> | ○ワークシート                                                                                                                                                              |

|                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                      |
|-----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○2 パートずつ合唱する。</p>                                | <p>○意見を集約したパートリーダーはそれを合唱リーダーに伝え、合唱リーダーはそれをメモしておく。</p> <p>○パートの課題が表現できるように、パートリーダーが主となって練習をすすめる。</p> <div data-bbox="496 445 983 544"> <p><b>ICTの活用②</b><br/>例) 練習（合唱）の様子を録画する。</p> </div>                                                                                        | <p><b>【支援を要する生徒への手立て】</b><br/>パート練習の様子を観察し、練習が滞っているパートにアドバイスをする。</p>                                                                                 |
| <p><b>4 本時の学習を振り返る。【5分】</b></p>                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                      |
| <p>○本時の学習を振り返り、R80の自己評価を書く。</p> <p>まとめ・振り返りを書く。</p> | <div data-bbox="464 663 1074 1099"> <p><b>【振り返り】例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛、涙などの大事な言葉を際立たせるように注意して歌いました。するとその言葉が強く響き、歌詞の内容が伝わりやすくなったと思いました。（歌詞の表現）</li> <li>・サビの部分を強く、その前の歌い方をなめらか歌う練習をしました。練習するときにみんな意識していたので曲のサビがすごくかっこよく聞こえました。（構成）</li> </ul> </div> | <div data-bbox="1091 674 1441 1032"> <p>A 基準：練習で①どんな工夫をしたか②その練習でどう変わったか具体的に書ける。</p> <p>B 基準：形式に則って①②が一応言える。</p> <p>C 基準：①②があいまいできちんと言えない。</p> </div> |

### （３）板書計画

|                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                   |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| めあて<br><div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 50px; margin: 5px;"></div> 授業の流れ<br><div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 50px; margin: 5px;"></div> まとめ | <div style="display: flex; justify-content: space-between; padding: 5px;"> <span>パートの役割</span> <span>歌詞，楽譜</span> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; margin-top: 5px;"></div> |  |
|                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                   |  |